2021 年度日本都市計画学会全国大会開催概要

日時：　2021 年（第 1 日）11 月 5 日（金）13:00～19:30
　　（第 2 日）11 月 6 日（土）9:20～20:00
　　（第 3 日）11 月 7 日（日）9:20～17:30
場所：　愛媛大学城北キャンパス及び松山市立子規記念博物館
内容：　エクスカーション①②・シンポジウム①②・都市計画 Web 展示
　　論文発表会・ワークショップ・都市計画報告会
参加人数：638 名（オンライン 343+現地 295）

2019 年度より、都市計画に関する多様な情報を共有し、「民」「官」「学」の多彩な人々が交流する場として「全国大会」として開催した。従来から行ってきた学術研究論文発表会は、各種催し物と併せて、全国大会を構成するプログラムとした。研究発表の場の充実並びに都市計画の社会的役割の拡大を目的としている。

本年度全国大会実施に関しては、新型コロナウイルス感染症等の社会情勢や政府及び自治体等の発令・要請や関係機関の方針を考慮しながら、開催方法の検討を全国大会企画特別委員会、開催校、担当支部並びに理事会にて進めて参りました。結果、10 月初旬に現地とオンラインの併用にて実施することとし、周知・準備をいたしました。

1 日目は、2 つのコースのエクスカーションとシンポジウム「サイクリングが拓く瀬戸内の未来」を現地及びオンラインにて同時配信開催した。実務者のみならず、都市計画を志している学生諸君も多数参画された。新たな試みとして有用な企画となった。

2 日目の午後には、ワークショップ 7 企画と都市計画報告会が開催された。

3 日目の午後には、本会防災特別委員会企画キックオフシンポジウム「災害の時代に都市計画はどう備えるか」を現地及びオンラインにて実施した。各部会の活動方針と論点・問題提起及びパネルディスカッションが行われ、闊達な意見交換がなされた。

本年度都市計画論文集[発表付]の投稿論文は 277 編、登載可となった論文 141 編、採択率は約 51%である。本年度の学術委員は 51 名、査読者は実数 485 名であり、短期間に多数の論文を審査する作業は、各位の計り知れない熱意と労力の上に成り立っている。論文発表に加えて、発表会における知的な交流の活性化を目的として、都市計画報告会を開催した。いずれも大変な盛況であった。

全国大会の開催にあたって準備・運営にご尽力頂いた、実行委員会の先生方、学生諸君、関係各位に心から感謝申し上げたい。

2021 年度日本都市計画学会全国大会・シンポジウム企画

『サイクリングが拓く瀬戸内の未来』

愛媛県今治市と広島県尾道市を結ぶ瀬戸内しまなみ海道では、日本で初めて海峡を横断できるサイクリングロードを整備し、瀬戸内の島々と連携してサイクリングを通した地域振興・観光振興に取り組んでいます。これまで国内外から多くのサイクリストが訪れ、賑わいを見せてきました。このシンポジウムは、瀬戸内を舞台としたサイクリングの魅力、サイクルツーリズムがもたらす地域の活力、自転車文化を通した地域・国際交流、アフターコロナ時代のサイクリングの意義や役割等のテーマについて自由に語り合い、サイクリングが拓く瀬戸内の“これから”を前向きに展望すると共に、自転車を活用したまちづくりのあり方について議論を深める機会としたいと考えています。

■開催日時・会場

・日時：2021 年 11 月 5 日 (金)　15 時 30 分～ 17 時 50 分

・場所：松山子規記念博物館　https://sikihaku.lesp.co.jp/

※同時に Zoom 等にてインターネットによる配信予定です。

※COVID-19 の感染拡大状況によっては、会場参加を中止し、インターネットによる配信のみとなることがあります。

■ 概要

1）挨拶　15:30 ～ 15:40

・出口敦氏（日本都市計画学会会長）

・中村時広氏（愛媛県知事）

2）基調講演　15:40 ～ 16:20

山中英生氏（徳島大学教授）

3）パネルディスカッション　16:30 ～ 17:50

・山中英生氏（徳島大学）

・坂本大蔵氏（愛媛県観光スポーツ文化部（自転車新文化推進課））

・高橋幸博氏（(株）アーチ・ヒーロー北海道）

・一青妙氏（四国一周サイクリング PR 大使）

・片岡由香氏（愛媛大学）　※コーディネーター

■ 定員：　250 名

■ 申込締切：　令和 3 年 10 月 22 日（金）17:00　(定員に達し次第、締め切ります)

■ 主催：公益社団法人日本都市計画学会　　■後援：愛媛県、松山市、今治市

2021年度全国大会（第56回 論文発表会）プログラム

11月6日（土）

9:40

第Ⅰ会場

山崎　隆之（香川大学）

1. 絵葉書に見る原初的な奈良公園の風致景観における植栽の特徴と効果
大阪府立大学大学院　佐々木　宏二
2. 地域の歴史に関する知識が町並み保全意識に与える影響分析
愛媛大学　白柳　洋俊
3. 看板・広告物に着目した河川沿いの景観の変化に関する研究
福岡市役所　余語　大地

休憩（20分）

11:00

横田　樹広（東京都市大学）

4. 来訪者の視点からみた篠山盆地を構成する山並みに着目した眺望景観の視覚的特徴
大阪府立大学　阿久井　康平
5. 名古屋市都心部における産業遺産の保存を含む緑地整備と管理に関する研究
名古屋大学　藤本　みずほ

11:40

松井　大輔（新潟大学）

6. 大都市都心部におけるエリアマネジメント団体による景観マネジメントの実態に関する研究
大阪市立大学大学院　高木　悠里
7. 伝統的建造物群の特性を踏まえた制度設計と運用支援に伴う修理・修景内容に関する研究
大阪市立大学大学院　倉田　英司

第Ⅱ会場

沖　拓弥（東京工業大学）

13. 移動距離・所要時間・燃料消費量に着目した右折禁止規制の効果
（株）野村総合研究所　袖山　仁志
14. 都市整備に伴う回遊選択の変化に応答的な土地の両面市場モデル
東京大学大学院　小林　里瑳
15. ダイヤの接続性を考慮した地域公共交通網の性能評価手法に関する研究
（株）ディー・エヌ・エー　長谷川　大輔

休憩（20分）

16. 競合環境下における介在機会モデルを用いたフロー捕捉型配置問題
慶應義塾大学大学院　谷口　航一
17. COVID-19による業務活動のオンラインシフトの要因分析
筑波大学　小松﨑　諒子
18. 三大都市圏居住者の地方部への地域愛着と貢献行動意図の関連
筑波大学　長谷澤　未来

第Ⅲ会場

永野　聡（立命館大学）

25. 立地適正化計画での雪対策関連施策に関する研究
新潟県　片桐　仁
26. 復興まちづくりおけるコミュニティの居住環境の課題に関する一考察
東海大学　後藤　純
27. 並行在来線の収益構造の分析から見た今後の鉄道経営のあり方について
しなの鉄道　岡田　忠夫

休憩（20分）

11:00

近藤　早映（三重大学大学院）

28. 官民連携に着目したスマートシティの持続可能な運営体制に関する研究
（株）インフォマティクス　津田　采音
29. COVID-19が子育て有職者のジェンダー・ギャップに及ぼした影響
筑波大学　石橋　澄子

第Ⅳ会場

柏﨑　梢（東洋大学）

36. 高速道路整備時期の違いが地域の発展に与えた影響に関する実証的研究
（株）建設技術研究所　森　優斗
37. 都心部における脱炭素達成に向けた施策展開のあり方に関する研究
千葉大学大学院　堀口　駿太朗
38. 小さな拠点形成に関わる地域運営組織の活動実態と取り組みへの評価
早稲田大学　古山　周太郎

休憩（20分）

11:00

小林　敏樹（北九州市立大学）

39. 拠点の形成という視点からみた地方創生拠点整備交付金の実態に関する研究
愛知県　山本　紘子
40. 地域固有の土地所有慣行のある青ノリ養殖業の持続に向けた生産方法とその背景
早稲田大学大学院　村井　遥
41. 立地適正化計画の評価指標である居住誘導区域内人口密度と市街地の密度構造の実態の比較
パシフィックコンサルタンツ（株）　大槻　颯

第Ⅴ会場

氏原　岳人（岡山大学大学院）

48. バス経路検索数の変動パターンに影響する要因の分析
鳥取大学大学院　細江　美欧
49. コンパクトシティ政策の交通行動・都市サービスへのアクセス面での効果に関する研究
横浜国立大学大学院　龍野　杏奈
50. トリップ集中から見た都市機能誘導区域の実態
筑波大学　清水　宏樹

休憩（20分）

11:00

小嶋　文（埼玉大学大学院）

51. Walkabilityの概念整理と日本での適用に向けた課題に関する研究
早稲田大学　伊藤　佑亮
52. 名古屋市の拠点エリアにおけるウォーカブルな空間デザイン要件の導出
（公財）名古屋まちづくり公社　伊藤　亜由美
53. 地域差とコロナ前後の比較によるサードプレイスと幸福感の関連性の研究
岡山大学大学院　今村　陽子

第Ⅵ会場

近藤　明子（四国大学）

60. 東京都区部における開発実態の評価を踏まえた開発拠点誘導政策の課題に関する研究
（株）日建設計　鈴木　賢人
61. 購買環境に対する主観的評価と意識・行動の関連性
中央復建コンサルタンツ（株）　岡野　圭吾
62. 斜面市街地における空き家の発生要因に関する研究
広島大学大学院　水澤　克哉

休憩（20分）

11:00

吉江　俊（早稲田大学）

63. 分譲マンション団地と周辺地区の環境の経年的変化
東京大学　深谷　麻衣
64. コロナ第一波の緊急事態宣言中および解除後における生活行動調査に基づくテレワークの導入実態
東京大学大学院　岡田　潤
65. 親元近居が時間的展望を介して子育て期の子世帯の居住意向に及ぼす効果
愛媛大学大学院　松村　暢彦

第Ⅶ会場

10:20

福島　秀哉（東京大学大学院）

72. 個人の大切な場所が織りなすまちの構造の研究
東京工業大学院　木塲　佳音
73. 軍港都市呉における市街地形成過程の分節性とその発現
清水建設（株）　佐鳥　蒼太朗
74. 戦後復興期における建築学徒・米永代一郎の都市計画に関する思考と活動
東京大学大学院　中島　直人

11:20

角　哲（名古屋市立大学大学院）

75. 戦前の国土計画、地方計画の戦後への継承性に関する一考察
東洋大学　佐野　浩祥

11:40

西川　亮（立教大学）

76. マルセイユ旧港の戦災都市復興におけるフェルナン・プイヨンの参画
筑波大学　松原　康介

昼　　食

12:40

木村　優介(京都大学大学院)

8. 散歩を支える「歩きやすい」と「歩きたくなる」環境要因から捉えたウォーカビリティに関する研究
(株)現代ランドスケープ　盛岡　諄平

9. 地方中枢都市都心部における街路の特性と行動者量の関連に関する研究
広島大学　西村　純平

休憩(20分)

13:40

阿久井　康平(大阪府立大学)

10. イタリア共和国憲法第9条の「風景保護」に関する制定時の議論
名古屋大学大学院　宮脇　勝

11. 行政職員の業務時間外における保全型まちづくり活動への参加形態
新潟大学　山賀　和真

12. 景観紛争を乗り越えて実践される鞆の浦の町並み保全型まちづくりの現状と計画的課題
新潟市役所　阿部　由香里

小林　隆史(立正大学)

19. 公共交通利便性に着目した活動ベースの高齢者モビリティ指標の提案
芝浦工業大学大学院　池上　哲広

20. 太陽光発電事業の立地と規制との関係
東京大学大学院　岡澤　由季

21. 地域メッシュデータを用いた地方都市における人口分布の集約・拡散に関する分析
福井工業大学　近藤　智士

休憩(20分)

22. 「住環境得点」による居住誘導と災害リスクの低減の関係についての一考察
東京大学　相　尚寿

23. 巨大災害後の広域人口移動予測に向けた動的居住地選択モデル
東京大学　小関　玲奈

24. 全国規模のエージェントシミュレーションに向けた世帯の現況推計データと将来予測モデルの構築
三井不動産(株)　梶原　健人

畠山　雄豪(東北工業大学)

30. COVID-19第一波前後に生じた潜在的な住宅選好の測定
東京大学　鈴木　雅智

31. 都市公園に隣接する児童遊園の更新の可能性の検討
宮城大学　小地沢　将之

32. 公共空間で行われるアートプロジェクトでの中間組織の役割に関する研究
東京理科大学　常泉　佑太

休憩(20分)

14:00

福田　由美子(広島工業大学)

33. 放課後児童クラブの運営および地域連携の実態からみた課題
大阪大学大学院　武田　裕之

34. 衰退する地区の条件
岡山大学大学院　氏原　岳人

35. 市民農業団体の関係者への評価調査の分析からみる課題と改善の考察
奈良女子大学　近江　郁子

大門　創(國學院大學)

42. 線引き都市における居住誘導区域の設定方針に関する研究
京都大学大学院　伊藤　完太

43. 非線引き都市の立地適正化計画における都市機能誘導区域の設定に関する研究
(株)アール・アイ・エー　清田　幹人

44. 土地利用の多様性が人口流入に及ぼす影響
三菱総合研究所　西村　慧音

休憩(20分)

14:00

沼田　麻美子(東京工業大学)

45. 住民組織が実施する地方移住支援の効果
八千代エンジニヤリング(株)　新井　崇史

46. 高校生の通学時における地域接触が地域愛着形成に与える影響
富山大学　籔谷　祐介

47. 長野県小布施町における「通り門」の利用実態と空間特性
東京大学大学院　新　雄太

大森　宣暁(宇都宮大学)

54. 交通ビッグデータを用いた地方都市中心市街地の人出等に対するCOVID-19感染拡大防止対策の影響分析
大阪工業大学　西堀　泰英

55. 都心部における公共交通サービスが来街者の活動空間に及ぼす影響に関する分析
石川工業高等専門学校　寺山　一輝

56. コミュニティ・カーシェアリング導入前後における利用者とドライバーの意識変化
鳥取大学大学院　升谷　吏歩

休憩(20分)

14:00

谷本　圭志(鳥取大学)

57. 中山間地域における生活交通の導入がその非利用者の住み続け意識や幸福感に及ぼす影響
北海道立総合研究機構 建築研究本部　岡村　篤

58. 都市郊外部公共交通の持続可能な路線再編
東北大学大学院　須ヶ間　淳

59. 駅周辺特性による異質性を考慮した地方鉄道の存廃が駅勢圏人口に及ぼす影響の分析
(株)日本総合研究所　植村　洋史

荒木　裕子(名古屋大学)

66. 地方小都市における洪水・土砂災害リスクと宅地開発・居住地選択・転出入人口の関係の変化分析
高知大学　坂本　淳

67. 災害復興移転集落の空間配置と計画の特徴
京都大学　蔡　松倫

68. 2016年熊本地震における益城町被災者の民間借上げ仮設住宅を経た住宅復興過程の特徴と課題
パナソニックホームズ(株)　上山　紘平

休憩(20分)

14:00

及川　康(東洋大学)

69. 居住誘導区域の人口密度の維持と浸水被害リスク低減に関するケーススタディ
徳島大学大学院　櫻井　祥之

70. 水害を経験した市町村における減災型水害対策の策定経緯に関する研究
東京工業大学　伊原　隼人

71. 阪神・淡路大震災25年後の復興都市空間の現在の居住者評価
関西大学　越山　健治

津々見　崇(東京工業大学)

77. 在郷町における近代の土地所有形態に着目した集落空間形成過程
柴田　純花

78. 明治40年代から大正期の台湾卑南渓流域における製糖業が地域開発に与えた影響
熊本県立大学　辻原　万規彦

13:20

中島　伸(東京都市大学)

79. 韓国・台湾の法整備における都市計画・建築法令分離の背景に関する研究
横浜市　五島　寧

80. 東京都市圏におけるライフスタイルと交通行動の長期的変化に関する研究
早稲田大学大学院　谷口　賢太

81. 「定住意向」と「転出回避」の2軸分析と転出回避施策の方向性検討に向けた基礎的研究
北海学園大学　竹口　祐二

15:30

WS・都市計画報告会

11月7日（日）

9:20

第Ⅰ会場

9:40

一ノ瀬　友博（慶應義塾大学）

82. 近江八幡の水郷地帯に分布するヨシ原の維持管理主体の一元管理の有効性
パシフィックコンサルタンツ（株）　小池　のどか

83. 地方都市郊外の旧村地域における動的景観構造
愛媛大学　四戸　秀和

84. 自然景観を含む都市内囲繞景観に対する住民評価とその要因分析
エム・アール・アイリサーチアソシエイツ（株）　佐々木　唯

休憩（20分）

11:00

川澄　厚志（金沢大学）

85. サイクリングルートのユーザー別満足要因の差異と道路環境の満足度モデル構築
佐賀大学　牝小路　諒

86. 温泉観光地における民泊施設の立地傾向と住民評価の実態
大分大学　姫野　由香

87. 歴史的風致維持向上計画の第一期から第二期への展開にみられる変化と課題
東日本旅客鉄道　宮下　拓也

第Ⅱ会場

佐藤　栄治（宇都宮大学）

92. 道の駅飲食店における利用行動実態と地域活性化に関する利用者の評価
近畿大学　山田　崇史

93. 樹林地俯瞰シークエンス景観の解析
（株）オークファン　西　美佳

94. 歴史的建築物保存における収益施設化に向けた最適改修割合
東京大学　井澤　佳織

95. 都市部の駅前商業集積の買回り行動における回遊性評価に関する研究
東京大学　塩崎　洸

休憩（20分）

11:00

山田　育穂（東京大学）

96. 定期連絡船に配備するドローンによる沿岸地域ならびに島嶼部の集配送システム
慶應義塾大学大学院　栗田　治

97. 道路時間距離を用いた地方都市生活圏の居住のコンパクト性の評価
鳥取大学大学院　福山　敬

98. 居住地域履歴を用いた地域環境が婚姻と出生に与える影響に関する分析
東京工業大学　久司　駿三

第Ⅲ会場

9:40

佐藤　雄哉（豊田工業高等専門学校）

103. 地方都市における核テナント撤退後の再開発ビルの再生に関する研究
日本郵政（株）　瀬川　直也

104. 輪島市における産業廃棄物最終処分処理場をめぐる住民投票の研究
早稲田大学大学院　福地　健治

105. 未利用地域資源の活用による観光まちづくりの発展プロセス
北海道大学　福山　貴史

休憩（40分）

11:20

藤井　さやか（筑波大学）

106. 制度および社会経済状況からみた総合設計制度の立地別の適用状況の変遷に関する研究
京都大学　鄭　湉

107. 総合設計制度における公共貢献としての公開空地整備のあり方に関する研究
千葉大学大学院　石橋　大輝

第Ⅳ会場

9:40

瀬田　史彦（東京大学大学院）

111. 人口減少都市における公共施設の統廃合とその最適時期の評価手法
千葉工業大学　佐藤　徹治

112. 都道府県別人口変動に及ぼす年齢・時代・コーホート効果の分析
（国研）国立環境研究所　金　炅敏

113. 都市更新政策下における深圳市の城中村の解体から総合整備への変容プロセス
千葉大学　徐　夕子

休憩（20分）

11:00

藤原　ひとみ（有明工業高等専門学校）

114. 公共施設の整備・管理運営における包括的な官民連携のあり方に関する研究
千葉大学大学院　捧　健一

115. 中山間地域における生活サービス拠点の機能と人々の滞在状況の関連に関する研究
広島大学　後藤　拓

第Ⅴ会場

9:40

西堀　泰英（大阪工業大学）

120. VRシミュレーションを用いた生活道路における歩車すれ違い時の歩行者の不安感に関する研究
岡山大学大学院　藤田　蓮土

121. 起終点交通量を潜在変数とする多様体学習とネットワークデザインのための代理モデルの構築
東京大学大学院　小川　瑞貴

122. 住居・業務・商業間のネットワーク構造に着目した土地利用マルチエージェントシミュレーション
名城大学　古田　稜

休憩（20分）

11:00

吉田　長裕（大阪市立大学）

123. 東京都市圏におけるEV・PV・定置用蓄電システムを活用した都市のゼロエミッション化に関する分析
川崎　直哉

124. 自家用車の非所有者に着目したライドシェア導入の自家用車保有意識に与える影響分析
岡山大学　Dang Chi Anh

125. グリーンスローモビリティの利用者に着目した低炭素性評価に関する研究
岡山大学　プラダン シュレヤス

第Ⅵ会場

武田　裕之（大阪大学大学院）

126. 2つの都心を持つ都市における都心の機能分担とその変化に関する研究
東京工業大学　土屋　泰樹

127. 鉄道を用いた近接駅周辺施設の利用実態に関する考察
大阪大学　青木　嵩

128. コロナ禍を境とした人口動態の変化と居住地選択の意向変化に関する研究
（公財）豊田都市交通研究所　坪井　志朗

10:20

清水　裕子（畿央大学）

129. 都市問題の解決に向けた新技術導入（スマートシティ化）に関する研究
国土交通省国土技術政策総合研究所　勝又　済

休憩（20分）

11:00

籔谷　祐介（富山大学）

130. 飛び市街化区域を構成する郊外住宅団地の変遷と問題点に関する研究
上越市　中村　謙太郎

131. 東日本大震災の被災地における商業店舗の再建動向に関する研究
東北大学　伊藤　みのり

132. スマートフォン普及期における地方都市中心市街地の商店街の変化
岩手大学　成川　佑弥

第Ⅶ会場

11:00

岩見　達也（国土技術政策総合研究所）

136. 木造住宅密集市街地解消における区の取り組みの違いに関する研究
東京工業大学　濱田　咲子

137. 水害実績図を用いた市街地における浸水実績の把握と水害リスクの評価
（国研）建築研究所　中野　卓

138. 水害対策としての開発規制に関する都道府県条例等に関する研究
兵庫県立大学大学院　馬場　美智子

昼　　食

13:00

椎野　亜紀夫(札幌市立大学)

88. 流域圏分析に基づく埼玉県荒川中・下流域右岸域のグリーンインフラの特質と計画論に関する研究
中央大学研究開発機構　石川　幹子

89. COVID-19影響下における港北ニュータウンの緑道機能に対する社会的便益の評価
東京都市大学　金井　優人

13:40

西村　亮彦(国士舘大学)

90. 日常風景写真を用いた風景認識に関する感性を育む教育プログラムの開発と評価
愛媛大学　中出　舞

91. 雲南省巍山古城における住民意見を反映した歴史まちづくりの展開
新潟大学　殷　梁珺

本間　裕大(東京大学)

99. 電柱と山との重なりに着目した沿道シークエンス景観の数理的考察
KDDI(株)　鮑　星宇

100. COVID-19 流行がもたらした有職者の生活時間変革
筑波大学　武田　陸

101. 首都圏郊外部における鉄道駅周辺小売業の広域的空間分布とその変容
(株)首都圏総合計画研究所　松下　耕太

102. COVID-19による外出制限が人口流動に及ぼす影響
筑波大学大学院　根本　裕都

李　鎔根(東京大学大学院)

108. 私有空間を利用した住民運営型の高齢者交流拠点づくり促進策の成果と課題
牛久市　尾澤　俊

109. 職住融合型暮らし実現による郊外住宅地の再生にむけての課題
横浜市立大学　齊藤　広子

110. 公民連携による空き家・空き地対策組織の展開と運営実態
筑波大学大学院　阿部　俊介

坂村　圭(東京工業大学)

116. デンマーク計画法改正により導入されたコンバージョンビレッジ制度の運用実態に関する研究
岐阜工業高等専門学校　鶴田　佳子

117. 金沢の文化的景観における犀川・浅野川の川筋保全に関する研究
金沢市　中谷　裕一郎

13:40

小山　雄資(鹿児島大学)

118. 都市計画区域外で適用されている土地利用管理手法に関する研究
名古屋工業大学大学院　石﨑　晴也

119. 市街化調整区域で指定された立地適正化計画の即地独自区域に関する一考察
長岡技術科学大学　松川　寿也

鄭　一止(熊本県立大学)

133. 退職高齢者の人付き合いの変遷と相談相手との出会いのきっかけに関する研究
早稲田大学大学院　冨永　万由

134. 大阪市西成区あいりん地区における観光化に伴う簡易宿泊所密集地域の変容に関する研究
大阪市立大学大学院　橋戸　真治郎

135. 海綿都市の理念を導入した既存住宅団地の改修事業における効果に関する研究 - 中国鎮江市における2015～2017年に改修された8つの団地を事例にして -
九州大学　徐　姍姍

客野　尚志(関西学院大学)

139. 神戸市熱中症搬送者データに基づく市街地における熱中症発症危険地区の抽出
関西大学大学院　湊　太雅

140. ヤンゴンにおける巨大地震を想定した建物被害に基づく地域ごとの脆弱性評価
東北大学大学院　北澤　岳

141. 東日本大震災復興再生期における閖上地区の居住環境と災害公営住宅の住まい方
東北大学大学院　加藤　春奈

15:00

防災シンポジウム

ワークショップ　／　11月6日（土）　15：30～17：30

①人口縮小と空き地・空き家問題

シュリンキングシティ研究会（CPIJ研究交流分科会）［第Ⅱ会場／共通講義棟C EL16］

人口縮小が進むことで都市計画的に課題となるものとして「空き地・空き家問題」がある。その実態についての事例報告と、それが具体的にどのような都市問題・社会問題として顕在化しているかを明らかにする。そして、この問題にどのように対処していけばいいのかを、海外を含めた幾つかの先行事例を踏まえ、議論をし、その展望を探ることを目的とする。
≪登壇予定者≫馬場弘樹（京都大学東南アジア地域研究研究所）、海道清信(名城大学)、青木嵩（大阪大学）、米村博昭（(公社）奈良まちづくりセンター）（モデレーター：服部圭郎（龍谷大学））

②都市におけるグリーンインフラの役割と社会実装

グリーンインフラの計画的展開と社会実装研究会（CPIJ研究交流分科会）［第Ⅲ会場／共通講義棟C EL26］

研究交流分科会「グリーンインフラの計画的展開と社会実装研究会」では、2019 年度からグリーンインフラの定義、機能、社会実装に向けた課題などを議論してきた。本 WS ではこれまでの議論を踏まえ、都市における役割と社会実装について話題提供し、議論したい。計画的な視点から要素技術としてのグリーンインフラまでを網羅し、日本の社会、都市の課題にグリーンインフラがどのように貢献しうるのか、そしてその実装にはどのような課題があるのか検討する。
≪登壇予定者≫一ノ瀬友博、植田直樹、三輪隆、福岡孝則、井本郁子、花房昌哉

③2050 年の社会像・都市像と都市・地域計画領域におけるアプローチ

2050 年都市ビジョン研究会（CPIJ研究交流分科会）［第Ⅳ会場／共通講義棟C EL35］

人口減少・超高齢社会、大規模災害の頻発、今なお続く新型コロナ禍など、わが国を取り巻く社会・経済情勢が以前にも増して変化する中、都市づくりも新たな時代への対応が求められている。今年6月、当研究会では、2050 年の望ましい社会像と都市像、その将来像を実現するために求められる都市・地域計画領域での対応をとりまとめ、提言書 Ver1.0 として公表した。本 WS では、今後３か年かけて提言書のバージョンアップしていく初年度の取組として、提言書に基づく話題提供を行うとともに、双方向型・発散型の意見交換を行う。
≪登壇予定者≫松谷春敏（㈱ＩＨＩ）、松下佳広（㈱国際開発コンサルタンツ）、山下陽子（㈱エックス都市研究所）、深谷信介（ノートルダム清心女子大学）、村上早紀子（福島大学）、森本瑛士（信州大学）

④浸水想定区域の都市的土地利用をどのように考えるか

木内望（建築研究所）・日本都市計画学会防災特別委員会第二部会（共催）［第Ⅶ会場／共通講義棟C EL45］

地球規模での気候変動影響や水害の多発・激甚化、流域治水への治水政策の転換等を受けて、都市計画・まちづくりにおいて水害対策との連携が求められているが、国内都市の置かれた気象・地形的条件や歴史的経緯などから、水害リスクフリーな都市づくりは必ずしも現実的ではないと思われる。立地適正化計画等の策定や開発規制制度の適用検討と併せて、当該地域の今後の土地利用の想定とリスク低減策を考える必要がある。本ワークショップでは、今大会における発表論文等を題材に、その著者・ＷＳ参加者により浸水想定区域内の土地利用のあり方などを議論する。
≪登壇予定者≫中野卓（建築研究所）、小川宏樹（徳島大学）、馬場美智子（兵庫県立大学）、中井検裕（東京工業大学）、中村晋一郎（名古屋大学）、加藤孝明（東京大学）

⑤持続可能な都市づくりに貢献する地理総合 -2022 年度地理総合必修化に向けた都市計画学会の取り組み-

日本都市計画学会企画調査委員会高校教育支援 WG［第Ⅷ会場／共通講義棟C EL24］

2022 年度から新学習指導要領に基づき高校で「地理総合」が必修となる。それに向けて 2020 年度より日本都市計画学会では高校教育支援 WG を設置し、さらに教材提供方針会議、大学連携チーム、支部チーム、仕事紹介チームを設置し、議論を進めている。そこでこれまで WG にて議論してきた内容について紹介すると同時に、高校における地理総合への支援のあり方、都市計画の専門家の果たす役割、都市計画学会として取り組む方向性、について意見交換したい。
≪登壇予定者≫野原卓、武田重昭、小松正明、他 WG・教材提供会議メンバー、高校地理担当教諭

⑥関係人口を基盤にした移住進化モデルを考える

移住定住研究会［第Ⅸ会場／共通講義棟C EL23］

地方創生の取組で移住・定住を推進する地方都市では、地域振興における「関係人口」の構築が重要視されています。「関係人口」の概念的な捉え方と「移住戦略」（移住進化モデル）について意見交換を 20 代年齢層を対象にオンライン参加型ワークショップにて行います。参加型ワークショップは、1 部：ガイダンス、2 部：参加者が移住進化モデルを検討・発案、3 部：移住体験者(登壇者)を交えたディスカッションで発案された移住進化モデルを総括の３部構成です。【参加型ワークショップ対象者：20 代・10 名、メールにて要事前申込：naomasa.abiko@gmail.com 担当：安孫子】
≪登壇予定者≫移住定住研究会：安孫子尚正・佐々木祐二・兵頭蒼（リージョナルデザイン㈱）、木蔵紘己（鳥取大学）

⑦都市公園の新展開「イノベーティブ・パーク」を問う

イノベーティブ・パーク研究会（CPIJ研究交流分科会）［第Ⅹ会場／共通講義棟C EL33］

近年、日本の津々浦々の都市公園において、共益と収益の最大化を目指し、公民連携で再整備する事例が増加している。この潮流は世界的に稀有であることから、「イノベーティブ・パーク」と称し、学会の分科会で議論を進めている。本ワークショップは、都市公園における官民連携を専門とする研究者、再整備から管理・運営までかかわる実践者により、世界と比較した日本の制度および事例の特徴と課題を論じ、世界に発信可能な知見をとりまとめることを目的とする。
≪登壇予定者≫坂井文（東京都市大学）、山崎嵩拓（神戸芸術工科大学）、宋俊煥（山口大学）、磯脇桃子（NPO birth）、山家渉（株式会社インザパーク）

都 市 計 画 報 告 会

日時：11 月 6 日（土） 15:30～17:30

発表対象：最近 1 年間に都市計画報告集掲載した報告のうち発表希望のあったもの
発表時間：10 分 ＋ 質疑応答：2 分

報告会 ①（第Ⅰ会場：共通講義棟Ｃ　EL15）

司　　会： 沼田　麻美子（東京工業大学）

題目	著者　○印＝発表予定者
NPO 法人による空き地活用型コミュニティガーデンの設立経緯と運営方法	○新保　奈穂美（兵庫県立大学）
公園利用者の行動特性と利用資源に関する研究	○高橋　和敬（（株）日比谷アメニス） ・上杉　哲郎・池田　龍仁・竹内　智子
多様な主体の協働による資源循環型農業の成立とメディエイターの役割	○渡邊　大郎（京都市役所） ・山口　敬太・谷川　陸
地方圏の市街化区域農地に対する価値認識の変化と生産緑地指定の拡がり	○丹下　誠司（東京大学大学院） ・坂本　慧介・山崎　嵩拓・飯田　晶子・横張　真
COVID-19 に伴う緊急事態宣言下における都市公園・緑道ネットワークの利用実態に関する研究	○竹内　智子（千葉大学）
災害時における公園の位置付けに関する研究	○石田　雅美（日本女子大学大学院） ・薬袋　奈美子
生活道路マスタープランの模擬的な作成	○大山　祐加子（日本女子大学大学院） ・薬袋　奈美子

報告会 ②（第Ⅴ会場：共通講義棟Ｃ　EL43）

司　　会： 大門　創（國學院大学）

題目	著者　○印＝発表予定者
駅の特性との関連から見た駅前の広告の色彩の分析	○吉川　徹（東京都立大学） ・吉田　泰寛
基盤整備済地区における個別敷地単位で提供された民有歩道状空地の空間実態	○上原　翔（東京大学大学院） ・藤本　一輝・今本　健太郎・塩崎　洸 ・ウォンダラ　ハルシット・松本　大知・中島　直人
世代間差異を考慮した地域公共交通計画における社会的便益評価手法の検討	○森谷　健太（富谷市役所） ・徳永　幸之
欧州におけるサッカースタジアムの複合化の特徴	○池内　亮太（東京大学大学院） ・新　　雄太・後藤　智香子・熊越　佑介 ・近藤　早映・吉村　有司・小泉　秀樹
デンマーク空間計画における再生可能エネルギー関連施設の立地コントロールに関する研究	○野口　佑芽（岐阜工業高等専門学校） ・鶴田　佳子
相対的に社会減を抑えることで人口減少を抑えた自治体の政策・民間動向の調査報告	○服部　圭郎（龍谷大学） ・海道　清信・藤井　康幸・松行美帆子・吉田　友彦
昭和期に公的主体が開発した住宅団地内にある複合公共施設の実態と変遷に関する研究	○清水　千江（名古屋大学大学院） ・佐藤　雄哉・坪井　志朗

報告会 ③（第Ⅵ会場：共通講義棟Ｃ　EL44）

司　　会： 柏﨑　梢（東洋大学）

題目	著者　○印＝発表予定者
障がい者・重症心身障がい者の外出を伴う余暇活動に関する基礎的研究	○久谷　真輝（神戸市立工業高等専門学校） ・小塚　みすず・田島　喜美恵・三村　泰広
身体活動推進面から見た立地適正化計画の評価項目の提案	○森田　洋史（東京大学大学院） ・塩崎　　洸・荻野　紗央・深谷　麻衣・榊原　康己 ・竹内　萌恵・陶山　功陽・中川　真輝・山岡　祐貴 ・樋野　公宏・井上　茂
変容する都市のダイバーシティ	○松本　奈何（神戸大学）
都心歓楽街におけるスタンド型路上客席の設置に関する報告	○植田　啓太（東京大学大学院） ・河﨑　篤史・永野　真義・中島　直人
都市解析に資する都市 OS の試験的な構築とその運用に関する一考察	○萩原　隼士（早稲田大学大学院） ・森本　章倫
Wi-Fi パケットセンサの計測値から実数への回帰分析	○白　林（早稲田大学） ・卯月　盛夫
デジタルデザインを自動化するための地域計画支援ツールのプロトタインピング	○馬　珏（東京大学） ・瀬戸　寿一・小俣　博司・関本　義秀
高校地理教育における都市構造可視化の活用についての研究	○石井　儀光（国土技術政策総合研究所）・他